

林業に新規参入する労働者に係る  
労働災害防止対策推進事業

# 安全な作業に必要な 作業計画の作成支援





# まえがき

森林・林業における労働災害の発生状況は、中長期的にみると減少傾向にありますが、他産業に比べると発生率が高い水準で推移しており、災害の程度も死亡災害など重篤な災害の割合が高い状況にあります。また、長引く木材価格の低迷の中で生産活動による利益を上げるため、コスト低減や高い労働生産性を求めるあまり、安全対策が十分講じられず労働災害の危険性が高まりかねない状況にあります。

近年の死亡災害の内訳をみると、①間伐作業中における災害、②不適切な方法による「かかり木」処理中における災害、③複数の林業労働者の接近作業が原因の災害が多くなっています。また、林業機械の普及等により、車両系の林業機械の転倒、転落や周囲の労働者を巻き込む災害が多発しています。

今後、森林・林業再生による搬出間伐等木材生産の増加に伴う雇用の拡大など、林業生産事業場に新規参入する労働者の増加が考えられ、これに伴う死亡災害の増加が懸念されます。

林業労働者の安全と健康の確保は、事業者が果たすべき「社会的責任」の中でも最も優先されるべき事項です。また、事業者の安全に対する投資は、安定経営と地域人材育成にも資する投資効果の大きなソフト事業であり、事業者の創意工夫による「自主的取組」を推進することが極めて重要です。

本作業計画の作成支援は様々な災害要因のうち、「かかり木の処理」などの非定常作業を含め間伐等の伐木、造材、集運材の一連の作業に起因する労働災害の低減を図るために作成しました。事業者及び事業場で指導的立場にある作業責任者、職長、並びに作業者が、個々の事業場の留意事項や安全作業の措置・手段を共通に認識して、より安全な作業を行うことが肝要です。

作業計画書は、標準的な作業手順において確認すべき主な項目のみを取りまとめています。このため、地域の条件や作業システムに配慮して、各事業場に合った計画書を作成して、より安全な作業の実施に役立てていただくことを期待します。

最後に、本作業計画書の取りまとめにあたっては、学識経験者及び間伐作業や労働災害防止対策について十分な経験を有する有識者で構成した「新規参入者教育カリキュラム、教育教材作成委員会」の客観的な評価、並びに「林業・木材製造業労働災害防止協会」の協力を得ました。ご指導・ご協力くださいました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成25年 1月

株式会社 森林環境リアライズ

## 作業計画書目次

1.	作業計画書作成の目的等	1
2.	作業計画の使用方法	2
3.	間伐作業等様式	
様式 1	年間予定表	4
様式 2	作業工程表	6
様式 3	作業計画書	8
様式 4 の 1	機械作業計画書（伐出等）	12
様式 4 の 2	機械作業計画書（作業道等）	14
4.	振動工具の使用	
様式 5	振動工具作業計画書	16
様式 6 の 1	振動工具自主点検表（チェーンソー用）	18
様式 6 の 2	振動工具自主点検表（刈払機用）	20
様式 7	振動工具管理台帳	22

## 1. 作業計画書作成の目的等

森林・林業の事業では、伐倒から集材・造材・運搬まで、作業工程が多岐にわたり使う機械も数種類におよびます。各作業も同時並行や共同連携作業となることも多く、作業員全員が相互の作業内容を理解することが、安全を確保するうえで必要なこととなります。

前日と同じ作業であっても、場所や天候で作業環境と作業条件は毎日少なからず変化するので、常に安全を確保した作業を行うことが必要です。

作業計画書は、事業者及び事業場で指導的立場にある作業責任者、職長、並びに作業員、請負者などが、互いの安全を補完する安全作業の共通意識を持つことを目的として策定しました。

特に、非定常作業となる「かかり木処理」、限られた事業場における「作業員の近接作業に留意した作業手順」「林業機械と人力による補完手順」、並びに「林業機械の操作の複雑化や小型化、重心位置の変化に配慮した作業範囲」など、安全確保のための具体的な留意事項や必要な措置・手段について示した作業計画書の作成が必要です。

災害は不安全な状態と人の作業行動との相互作用によって発生します。そのため、作業計画書の作成にあたっては、現地調査による事業場の制約条件の把握・整理を行い、その制約条件もとの危害要因を予測・防止した作業方法、林業機械の選択など最適な作業計画を立てる必要があります。

作業の実行にあたっては、事業場の状況、作業形態、林業機械の稼働などをよく把握するとともに、事業場を適切に管理して、作業計画との差異がある場合には、随時に事業場の状況に合致した計画に変更を行い、関係者に周知することが必要です。

作成した作業計画書の具体的な活用方法は次のとおりです。

- (1) 作業前の安全管理活動としての朝礼、KY活動、安全ミーティングなどの場で、作業前の安全対策確認などを関係者全員に周知する機会に活用してください。
- (2) 事業場へ移動する前の作業手順確認及び説明資料として活用してください。
- (3) 作業計画書を休憩施設等に掲示するなどにより、作業内容の確認を常に行える資料としてください。
- (4) 数多くの事業形態の作業計画書は安全教育の資料として有効活用できます。

本冊子の作業計画書は標準的な作業手順の確認をすべき主な項目のみを取りまとめられています。このため、地域の条件や事業者及び個々の事業場の特有な条件などを加味し、より工夫を加えた作業計画書を作成して、更なる安全性を向上させた作業の励行と安全衛生管理に活用することが肝要です。

## 2. 作業計画の使用方法和注意事項

### 2-1 間伐作業等

#### (1) 様式1 年間予定表

予定する事業場の位置、面積、事業量、作業工程、予定日数、進捗状況などを事業予定が見通せた段階に年間予定表として示します。作業班別の事業場の作業量・生産目標、作業のポイントが明確になることで、通年作業の取組準備や、技術取得の意欲、安全作業へ取り組みが促進されます。また、本予定表に特別教育・安全教育等の予定、並びに安全研修会、リスクアセスメント実施予定、夏季休暇及び機械の点検時期等を記載して、事業全体の見える化を図ることが必要です。

#### (2) 様式2 作業工程表

現地調査後に事業場に即した作業方法、林業機械の選択等を行い、作業項目、作業量、所要人数等の作業工程を作成します。また、作業実施中には進行状況を実数（実績）で示して、各作業の進行状況と同時並行や共同連携作業、同一機械の作業工程変更などを作業員全員で情報共有します。特に、林業機械と人力補完の作業範囲と内容を情報共有して、相互に安心・安全作業の「出来る化」を図ることが必要です。

#### (3) 様式3 作業計画書

事業場単位の詳細な計画で作業工程表と同時に作成します。記載内容は事業場の位置、生産量、事業期間、事業場の状況、振動障害に伴う健康診断状況、事故・災害などの緊急時の緊急車両との待合せ場所、並びに伐木作業計画（伐木・集材方法、使用林業機械、かかり木処理機械器具所持の有無）などです。主な作業の担当者や使用機械が明らかになり、危険要因とリスクに対する対策が現実的に把握できます。なお、作業員が全体の作業内容を把握することで、臨時的に作業員の交代があっても、作業の安全性の低下を最小限にすることができます。

#### (4) 様式4の1 機械作業計画書（伐出等）

林業機械作業（伐倒・木寄・集材・造材・はい作業・搬出運搬）の安全確保の具体的な留意事項や措置・手段を示した作業計画書です。作成は作業計画書完成後の林業機械の配備見通しが立った段階とします。記載事項は使用機械、運転者、安全対策、作業範囲と運行計画図、並びに運転者の資格等を記載します。特に、作業範囲と運行計画図は、現地調査に基づく運行上の注意事項、作業員との配置を詳細に示した安全作業の手順書として作成することが必要です。

#### (5) 様式4の2 機械作業計画書（作業道等）

作業道、土場及び路網維持管理などの森林土木作業の安全確保のための作業計画書です。機械作業計画書（伐出等）と同様に、作業計画書完成後の各施設の配置計画が策定された段階に作成します。特に、作業道及び土場造成は詳細な調査設計や施工管理指針が無い場合、現地調査に基づく安全作業の手順書として作成することが必要です。



## 2-2 振動工具の使用

### (1) 様式5 振動工具作業計画書

チェーンソーの作業計画書は、チェーンソー取扱い指針について（平成21年7月10日 基発0710第1号）別紙（以下「チェーンソー通達」という。）、第1の（4）「…(省略)…チェーンソーの1日当たりの振動ばく露限界時間から、1日当たりの振動ばく露時間を定め、これに基づき具体的なチェーンソーを用いた作業の計画を作成し、書面等により労働者に示すこと。」とされています。

刈払機作業では、チェーンソー以外の振動工具の取扱い業務に係る振動障害予防対策指針について（平成21年7月10日 基発0710第2号）別紙（以下「刈払機通達」という。）3の（3）「…(省略)…振動工具の1日当たりの振動ばく露限界時間から、1日当たりの振動ばく露時間を定め、これに基づき、具体的な振動工具を用いた作業の計画を作成し、書面等により労働者に示すこと。」とされています。

本計画書は、「伐木造林業務従事者必携-安全衛生教育用テキスト-」（林業・木材製造業労働災害防止協会 平成24年5月、改訂第2版）（以下「伐木造林必携」という。）、及び「刈払機取扱作業必携-刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育テキスト-」（林業・木材製造業労働災害防止協会 平成23年11月、第6版）（以下「刈払必携」という。）の両テキストに示される様式を基に作成しています。

### (2) 様式6の1 振動工具自主点検表（チェーンソー用）

振動障害総合対策の推進について（平成21年7月10日付け基発0710第5号）第1の3の（1）で示された別紙2の振動工具自主点検表（チェーンソー用）を基に作成しています。

### (3) 様式6の2 振動工具自主点検表（刈払機用）

振動障害総合対策の推進について（平成21年7月10日付け基発0710第5号）第1の3の（1）で示された別紙2の振動工具自主点検表（チェーンソー以外用）を基に作成しています。

### (4) 様式7 振動工具管理台帳

チェーンソー通達及び刈払機通達の「…(省略)…点検・整備状況を定期的に確認するとともに、その状況を記録する」に基づき、伐木造林必携及び刈払必携の双方に示される様式に準拠しています。

なお、本冊子に掲載した振動工具の使用に伴う各種の様式は、あくまで例であり適宜使用状況等に勘案して作成することが、伐木造林必携及び刈払必携で必要とされています。



**平成25年度 年間予定表 (記載例)**  
**作業班年間作業計画**  
 作成 (改訂) 平成25年4月2日  
 計画作成者 森林太郎

様式 1

事業場名 (住所、所有者氏名)	図面番号	面積 (ha)	予定材積 (m <sup>3</sup> )	用地承諾	作業内容	作業責任者	稼働日数	進捗チェック	作業班年間作業計画												備考				
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		(4月)			
スギの山団地 〇〇市〇〇町2番15号 〇〇市有林200林班12小班	200林班 2番図	60.5	スギ-1,000 広葉樹-500	済	調査	森林太郎	20日														梅雨入り前 年内清算				
					作業道 伐木・集材 精算	月山五郎 森林太郎	20日 70日 15日																		
					調査 精算	森林太郎	5日																		
カラマツ里山団地 〇〇郡〇〇市〇〇町 杉山松之助氏所有林 77林班ろ小班	電子地図 77-ろ1 番図	28.3	カラマツ-850	済	作業道	桜山二郎	10日																		
					伐木・集材 精算	松山一朗 森林太郎	35日 15日																		
					調査	森林太郎	20日																		
子供達の自然体験林 〇〇市〇〇町1562林班 仲良し小学校林 1562林班88小班	〇〇市森 林基本図 N03	40.0	スギ-1,200 ヒノキ-500	6月契約 約予定	作業道	月山五郎	15日														10月末まで清算 契約後調査予定 カラマツ里山後 冬の間伐 年度内清算				
					伐木・集材 精算	森林太郎	90日 15日																		
合 計																									





様式 2

作業工程表 (記載例)

作成年月日 平成25年 5月 5日  
 第 回改訂年月日 平成25年 6月 6日  
 計画作成者 森山太郎

事業場名	カラマツ里山園地	面積	28.3 ha	予定材積	作業期間 平成25年 7月 3日 ~ 10月 10日												森山太郎	作業班			
					カラマツ850 m <sup>3</sup>			7月			8月			9月					10月		
					1-5	6-10	11-15	1-5	6-10	11-15	1-5	6-10	11-15	1-5	6-10	11-15			1-5	6-10	11-15
作業種	作業量	作業責任者	総所要数	日程																	
現場確認 (下見)	28.3ha	森山太郎	1日 2人	実績 計画																	
周囲測量	外周1.6km	森山太郎	3日 3人	実績 計画																	
路網設定・設計	600m	森山太郎	2日 3人	実績 計画																	
既設道整備 補修・刈払	2.500m	桜山二郎	2日 3人	実績 計画																	
資機材等 搬入	セミトレ1台 4台(外注)	桜山二郎	2日 2人	実績 計画																	
作業道支障木伐 木	600m	松山一郎	2日 2人	実績 計画																	
作業路開設	600m	桜山二郎	10日 2人	実績 計画																	
選木	28.3ha	森山太郎	3日 3人	実績 計画																	
伐木(チエーン ソー)	28.3ha 300m <sup>3</sup>	松山一郎	7日 2人	実績 計画																	
伐木 (ハーベスタ)	28.3ha 550m <sup>3</sup>	松山一郎	5日 1人	実績 計画																	
木香 (グラップル)	28.3ha 300m <sup>3</sup>	松山一郎	5日 1人	実績 計画																	
造材 (フロセッサ)	28.3ha 300m <sup>3</sup>	松山一郎	2日 1人	実績 計画																	
集材・搬出 (フォワーダ)	28.3ha 850m <sup>3</sup>	桜山二郎	7日 1人	実績 計画																	
ばい作業 (グラップル)	850m <sup>3</sup>	松山一郎	2日 1人	実績 計画																	
運材(グラップ ル・トラック)	850m <sup>3</sup>	桜山二郎	2日 2人	実績 計画																	
資機材等 搬出	セミトレ1台 4台(外注)	桜山二郎	2日 2人	実績 計画																	
備考	現地立会：7月3日(所有者同 行) 施業集約化提案書：5月5日提 出、6月1日契約(担当：森山太 郎)												作業路建設機械：先行現場陸送 (グラップル(住友)ヘッド- ザウルス)で開設、路盤30mm級 敷設予定)	運材精込：グラップル(住 友)、運材終了後機械搬出(外 注)							

様式 3

作業計画書

作成年月日 平成 年 月 日  
 第 回改訂年月日 平成 年 月 日

事業者名	⑤
所在地	
計画作成者	

1. 事業の概要

事業場(現場・団地)名称			
作業場所 ( 林班等 ) ( 林班図を添付 )			
作業班名 作業班責任者名・連絡先	電話	携帯電話	
営林別	国有林 (林野庁、その他)・都道府県有林 ( 地区 )・市町村林 ( ) 私有林 (発注者)		
作業の内容	伐木請負	立木処分	
作業期間	自 平成 年 月 日 ~ 至 平成 年 月 日		
労働者数	男 人 女 人 計 人		
安全管理者及び衛生管理者又は安全衛生推進者名			
年間作業予定工程表	有 ( 月 ~ 月 ) ・ 無	振動工具使用した作業計画書	有 ・ 無
林業機械作業計画	有 ・ 無	振動工具自主点検表	有 ・ 無
安全作業規定等	安全作業の心得作成 有 ・ 無	振動工具台帳	有 ・ 無

伐木の内容	伐木予定樹種	林齢(年齢)			年生( )
	伐木方式	定性・郡状・列状・切捨て・皆伐・択伐・その他			
	伐木数量	立木材積	針葉樹	広葉樹	面積 ha
現場の状況	現場の地形	緩 (10° 未満) 中 (10° ~20° 未満) 急 (20° 以上)	出材予定	針葉樹	m³
	距離	事務所・宿舍⇄事業地 km	採面⇄山土場	広葉樹	m³
チェーンソー取扱者の経費					
伐木作業	月額制				
	日額制のみ	人 併用 人 ( 併用の場合の方法 )			
	その他	人 ( 個人出来高制 人、共同出来高制 人)			
	出来高制の賃金の算定方法 ( 個人出来高、共同出来高、併用 )				
土木作業における伐木作業 有 ・ 無					
振動障害についての健診状況					
在籍者の受診状況 ( 過去 3 年 )	受診 人 ( 管理区分 A 人 B 人 C 人 ) 未受診 人 不明 人				
未受診者の健康診断の実施計画の概要					
雇用時の一般検査の実施状況	有 ・ 無	雇用時一般検査未受診者の健康診断の実施計画概要			
事故・災害などの緊急時緊急車両との待合せ場所	林班 小班	GPS緯度: 経度:			
	林道等名称・位置				





様式 3

作業計画書 (記載例)

作成年月日 平成25年 5月 5日  
 第 回改訂年月日 平成 年 月 日

事業者名	厚生森林組合
所在地	〒100-8916 東京都千代田区霞ヶ関〇〇-〇
計画作成者	森林整備係長 森林太郎

1. 事業の概要

事業場(現場・団地)名称	カラマツ里山団地 杉山 松之助 氏所有林		
作業場所 ( 林班等 ) ( 林班図を添付 )	〇〇〇郡〇〇市〇〇町 77 林班ろ小班		
作業班名 作業班責任者名・連絡先	作業班名：森山太郎作業班 作業班責任者：森林太郎 電話 030-666-000 携帯電話 0801-222-111		
営林別	国有林 (林野庁、その他)・都道府県有林 ( 地区 )・市町村林 ( ) 私有林 ( 発注者 )		
作業の内容	伐木請負 立木処分		
作業期間	自 平成 24 年 7 月 3 日 ~ 至 平成 24 年 10 月 10 日		
労働者数	男 5 人	女 1 人	計 6 人
安全管理者及び衛生管理者又は安全衛生推進者名	森林整備係長 森林太郎		
年間作業予定表	有 (7月~10月)・無	振動工具使用した作業計画書	有・無
作業工程表	有・無	振動工具自主点検表	有・無
林業機械作業計画	有・無	振動工具台帳	有・無
安全作業規定等	有・無	安全作業の心得作成	有・無

伐木の内容	カラマツ	林齢(年齢)	70年生(14)
伐木方式	定性) 郡状・列状・切捨て・皆伐・択伐・その他	面積	28.3 ha
伐木数	立木材積 針葉樹 6,300 m <sup>3</sup> 広葉樹 1,200 m <sup>3</sup>	出材予定 針葉樹 850 m <sup>3</sup> 広葉樹 0 m <sup>3</sup>	
現場の地形	緩(10°未満) 中(10°~20°未満) 急(20°以上)	人工林 84 % 天然林 16 %	
距離	事務所・宿舍⇄事業地 20 km 採面⇄山土場 0.8 km(平均)		
チェーンソー取扱者の経費			
伐木作業	月額制 日額制のみ 併用 人 (併用の場合の方法) その他 人 (個人出来高制 人、共同出来高制 人) 出来高制の買金の具体的算定方法 (個人出来高、共同出来高、併用) 土木作業における伐木作業 有・無		
振動障害についての健診状況			
在籍者の受診状況 (過去3年)	受診 3 人(管理区分 A 2人 B 1人 C 人) 未受診 人 不明 人		
未受診者の健康診断の実施計画の概要			
雇用時の一般健診の実施状況	有・無	雇用時一般健診未受診者の健康診断の実施計画概要	
事故・災害などの緊急時緊急車両との待合せ場所	77 林班 は 1 小班 GPS緯度: 北緯 35 度 39 分 29 秒 1572 経度: 東経 139 度 44 分 28 秒 8759		
林道等名称・位置 霞ヶ関地区 千代田林道 (起点より1.5km) 里山作業道分岐点 救急隊とドクターヘリのランデブーポイント ( ) 普通乗用車通行可 携帯電話通話可 緊急時携帯電話番号 0801-222-111 (森山)			





様式 4 の 1

機械作業計画書（伐出等）

【伐木・木寄・集材・造材・はい作業・搬出運搬】

作成年月日 平成 年 月 日

第 回改訂年月日 平成 年 月 日

事業者名	印
計画作成者	

事業場(現場・団地)名称				
作業場所 (林班等)				
作業班名				
作業班責任者名・連絡先				
作業期間	自 平成 年 月 日	至 平成 年 月 日	所有者	運転者
使用機械	区分	機械名称	性能	台数
選任・指名	作業責任者名			
	誘導者名			
合図の方法	手・笛・旗・無線・その他 ( )			
危険範囲禁止措置	監視人・バリケード・トラロープ・カラコーン・警報装置			
地形	平地・傾斜 ( )・段差地・作業面 ( 広い・狭い )			
地質	硬岩・軟岩・礫・砂礫・シルト・粘性土・泥炭			
埋設物・架空線近接と防護の方法	埋設物 ( 有 m ・ 無 ) ・ 架空線 ( 有 m ・ 無 )			
機械転倒危険場所と転倒防止措置	防護方法 ( 有 ・ 無 )			
作業システム (簡潔に記入)	防止措置 ( )			
安全対策 (危険予知に対する措置内容)				

作業場所及び作業範囲と運行経路図

機械位置、付随する機械設備、運搬路と移動位置、安全通路、立入禁止区域、制限速度、誘導者位置などを記入。

周知の記録  
・当作業計画書に従って作業します。 < 月 日 >  
(署名)

作業区分	機械名	運転者	資格等
対象機械と資格			①-1 林業築線作業主任者免許 ①-2 機械集材装置の運転に係る特別教育修了者 (1t以上) ②-1 移動式クレーン運転免許 (5t以上) ②-2 移動式クレーン運転免許 (小型移動式クレーン)運転技能講習修了者 (1t以上) ③ 地山掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習修了者 ④ はい作業主任者技能講習修了者 ⑤-1 フォークリフト運転技能講習修了者 (1t以上) ⑤-2 フォークリフトの運転に係る特別教育修了者 (1t未満) ⑥-1 ショベルローダ等の運転に係る特別教育修了者 (1t以上) ⑥-2 ショベルローダ等の運転に係る特別教育修了者 (1t未満) ⑦-1 不整地運搬車運転技能講習修了者 (1t以上) ⑦-2 不整地運搬車の運転に係る特別教育修了者 (1t以上) ⑧-1 車両系建設機械 (整地・運搬・積込・掘削)運転技能講習修了者 (3t以上) ⑧-2 車両系建設機械 (運搬・積込)の運転に係る初級講習修了者 (3t未満) ⑨-1 玉掛け技能講習修了者 (1t以上) ⑨-2 玉掛けの業務に係る特別教育修了者 (1t未満) ⑩ トラクター等による集材作業の指導者等に対する安全教育修了者 ⑪ 荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育修了者 ⑫ 林内作業車を使用する集材作業に従事する者に対する安全教育修了者

【参考：安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】

様式 4 の 1

機械作業計画書（伐出等）（記載例）

【伐木・木寄・集材・造材・はい作業・搬出運搬】

作成年月日 平成 25 年 5 月 5 日

第 回改訂年月日 平成 年 月 日

事業者名	厚生森林組合
計画作成者	森林整備係長 森林太郎

事業場(現場・団地)名称	カラマツ里山団地	杉山 松之助 氏所有林
作業場所 (林班等)	〇〇〇郡〇〇市〇〇町 77 林班ろ小班	
現場責任者名	森林整備係長 森林太郎	
作業期間	自 平成 24 年 7 月 3 日 ~ 至 平成 24 年 10 月 10 日	

区分	機械名称	能力	台数	所有者	運転者
伐木・造材	ハーベスタ(コマツ)ケト-500	PC160 φ50	1	社有	松山一郎
木寄・集材	グラップル(住友)イワフジ	SH135 GS90LG	1	社有	桜山二郎
造材	プロセッサ(イワフジ)GT500	GP532	1	社有	笹山三郎
集材・搬出	フォワーダ(モロオカ)ST600	6 t 積	1	社有	岩山四郎
はい作業	グラップル(寄与・集材併用)	SH135 GS90LG	1	社有	桜山二郎

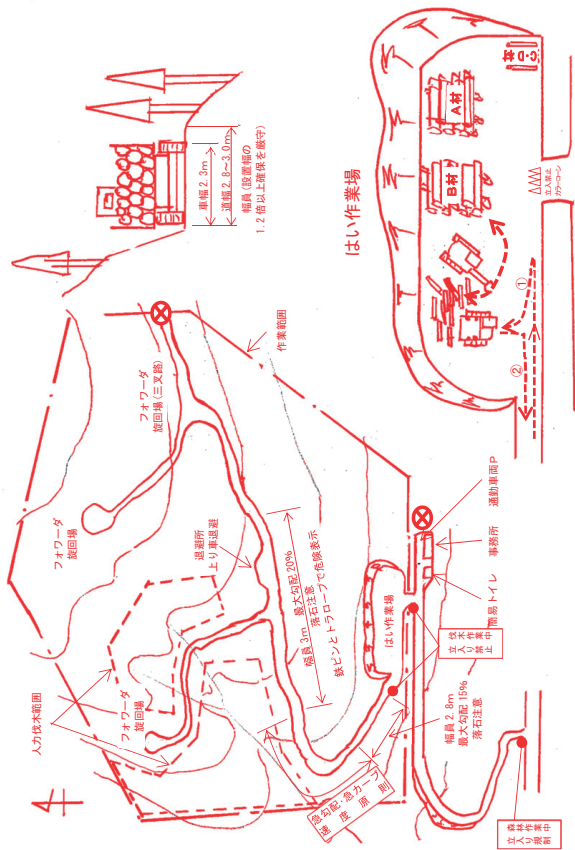
選任・指名	作業責任者名 桜山二郎
合図の方法	誘導者名 山川三郎
危険範囲	手・笛・旗・無線・その他 ( )

危険範囲	監視人・バリケード・トラロープ・カラコーン・警報装置
地質	平地・傾斜(10°)・段差地・作業面(広い・狭い)
地質	硬岩・軟岩・礫・砂礫・シルト・粘性土・泥炭
埋設物・架空線	埋設物(有・無)・架空線(有・無)
接と防護の方法	防護方法(有・無)
機械転倒危険場所	防止措置(作業道谷側危険箇所にトラロープ設置、土場谷側に土塁壁(0.5m))
と転倒防止措置	ハーベスタ伐木・グラップル(ウインチ)全木集材・プロセッサ造材・フォワーダ
作業システム	集材・グラップルはい作業
(簡潔に記入)	

安全対策	1. 現場始業時打合せ ① 毎朝、作業班で短時間打合せ。(役割・作業場確認、作業時間と連絡体制確認) ② 打合せ時に危険予知及びその日の注意事項確認。 2. 終業時打合せ ① 当日の作業者全員で短時間打合せ。(作業状況確認、明日作業方針、危険作業や危険箇所共有)
------	---

作業場所及び作業範囲と運行経路図

機械位置、付随する機械設備、運搬路と移動位置、安全通路、制限速度、誘導者位置などを記入。



周知の記録  
・ 当作業計画書に従って作業します。 < 7 月 29 日 >  
(署名) 桜山二郎、岩山四郎

作業区分	機械名	運転者	資格等
伐木・集材	ハーベスタ	松山一郎	②-2、⑧-2
木寄・集材	グラップル	桜山二郎	②-2、④、⑨-2
造材	プロセッサ	笹山三郎	②-2、⑧-2
集材・搬出	フォワーダ	岩山四郎	⑦-1、⑩、⑫
はい作業	グラップル	桜山二郎	②-2、④

【参考：安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】

- 対象機械と資格
- ①-1 林業築線作業主任者免許
  - ①-2 機械集材装置の運転に係る特別教育修了者
  - ②-1 移動式クレーン運転免許(5t以上)
  - ②-2 移動式クレーン運転免許(小型移動式)運転技能講習修了者(1t以上)
  - ③ 地山掘削及び止め支保工作業主任者技能講習修了者
  - ④ はい作業主任者技能講習修了者
  - ⑤-1 フォークリフトの運転に係る特別教育修了者(1t以上)
  - ⑤-2 フォークリフトの運転に係る特別教育修了者(1t未満)
  - ⑥-1 ジョイントローダ等の運転に係る特別教育修了者(1t以上)
  - ⑥-2 ジョイントローダ等の運転に係る特別教育修了者(1t未満)
  - ⑦-1 不整地運搬車の運転に係る特別教育修了者(1t未満)
  - ⑦-2 不整地運搬車の運転に係る特別教育修了者(3t以上)
  - ⑧-1 車両系建設機械(整地・運搬・積み・掘削)運転に係る特別講習修了者(未未満)
  - ⑧-2 車両系建設機械(整地・運搬・積み・掘削)の講習に係る特別講習修了者(未未満)
  - ⑨-1 玉掛け技能講習修了者(1t以上)
  - ⑨-2 玉掛けの業務に係る特別教育修了者(1t未満)
  - ⑩ トラクター等による集材作業の指揮者等に対する安全教育修了者
  - ⑪ 荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育修了者
  - ⑫ 林内作業車を使用する集材作業に従事する者に対する安全教育修了者

様式 4 の 2 機械作業計画書（作業道等）

作成年月日 平成 年 月 日  
 第 回改訂年月日 平成 年 月 日

事業者名	印
計画作成者	

事業場(現場・団地)名称				
作業場所 ( 林班等 )				
作業班名				
作業班責任者名・連絡先				
作業期間	自 平成 年 月 日	至 平成 年 月 日	所有者	運転者
使用機械	機械名称	性能	台数	
選任・指名	作業責任者名			
	誘導者名			
合図の方法	手・笛・旗・無線・その他 ( )			
危険範囲	監視人・バリケード・トラロープ・カラーコーン・警報装置			
立入禁止措置				
地形	平地・傾斜 ( 10 度 ) ・段差地・作業面 ( 広い・狭い )			
地質	硬岩・軟岩・礫・砂礫シルト・粘性土・泥炭			
埋設物・架空線近接と防護の方法	埋設物 ( 有 m ・ 無 ) ・架空線 ( 有 離れ m ・ 無 ) 防護方法 ( )			
機械転倒危険場所と転倒防止措置	有 ・ 無 防止措置 ( )			
作業方法・内容 ( 簡潔に記入 )				
安全対策 ( 危険予知に対する措置内容 )				

作業場所及び作業範囲と運行経路図

機械位置、付随する機械設備、運搬路と移動位置、安全通路、立入禁止区域、制限速度、誘導者位置などを記入。

周知の記録  
 ・ 当作業計画書に従って作業します。 < 月 日 >  
 (署名)

作業区分	機械名	運転者	資格等
対象機械と資格			
			①-1 移動式クレーン運転免許 (5t 以上) ①-2 移動式クレーン運転免許・小型移動式クレーン運転技能講習修了者 (1t 以上) ①-3 移動式クレーンの業務に係る特別教育修了者 (1t 未満) ② 地山掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習修了者 ③-1 フォークリフト運転技能講習修了者 (1t 以上) ③-2 フォークリフトの運転に係る特別教育修了者 (1t 未満) ④-1 ショベルローダ等運転技能講習修了者 (1t 以上) ④-2 ショベルローダ等の運転に係る特別教育修了者 (1t 未満) ⑤-1 不整地運搬車運転技能講習修了者 (1t 以上) ⑤-2 不整地運搬車の運転に係る特別教育修了者 (1t 未満) ⑥-1 車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削)運転技能講習修了者 (1t 以上) ⑦-1 玉掛け技能講習を修了者 (1t 以上) ⑦-2 車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削)運転に係る特別教育修了者 (1t 未満) ⑦-3 玉掛けの業務に係る特別教育修了者 (1t 未満) ⑧ その他 ( )

【参考：安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】



様式 4 の 2

機械作業計画書（作業道等）

平成25年 5月 5日  
 作成年月日  
 平成 年 月 日  
 第 回改訂年月日

事業者名	厚生森林組合
計画作成者	森林整備係長 森林太郎

事業場(現場・団地)名称	カラマツ里山団地	杉山 松之助 氏所有林
作業場所 (林班等)	〇〇郡〇〇市〇〇町 77林班ろ小班	
作業班名	森山太郎作業班	
作業班責任者名・連絡先	作業班責任者：森山太郎	電話 030-666-000 携帯電話 0801-222-111
作業期間	自 平成 24年 7月 3日 ~ 至 平成 24年 10月 10日	

区分	機械名称	性能	台数	所有者	運転者
作業道開設	バックホウ(KOBELCO)SK135SR	0.5m <sup>3</sup>	1	リース	月山五郎
"	ブルドーザ(コマツ)D21A-8E0	3.9t	1	リース	火山六郎
使用機械					

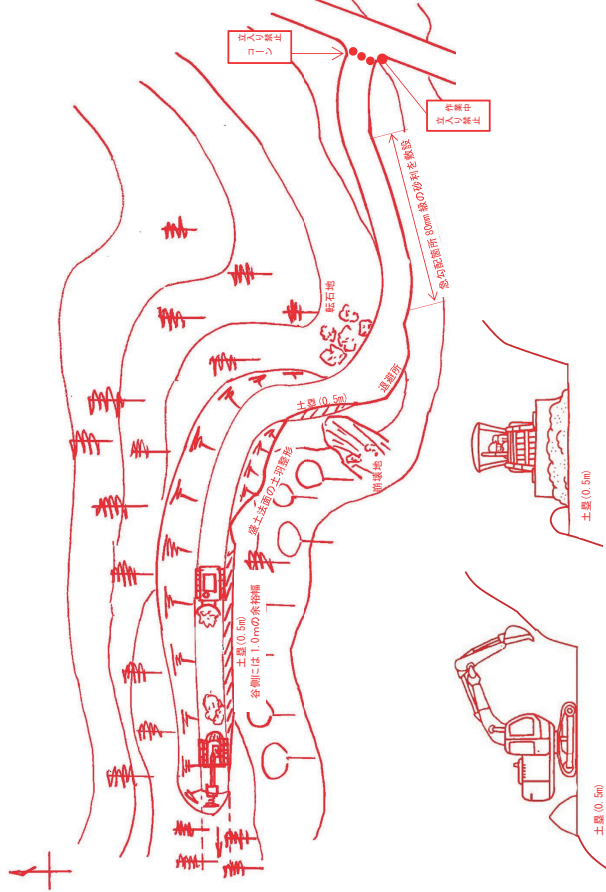
選任・指名	作業責任者名 桜山二郎
合図の方法	誘導者名 山川三郎
危険範囲	手・笛・旗・無線・その他 ( )

危険立入禁止措置	監視人・バリケード・トラロード・コーン・カラコーン・警報装置
地質	平地・傾斜(10度)・段差地・作業面(広い・狭い)
地質	硬岩・軟岩・礫・砂礫シルト・粘性土・泥炭
埋設物・架空線近接と防護の方法	埋設物 (有 m・無)・架空線 (有 離れ m・無)
機械転倒危険場所と転倒防止措置	有・無 防止措置 (作業道開設に伴う谷側には土塁(0.5m)を設置しつつ開設)
作業方法・内容(簡潔に記入)	①チェーンソーで支障木伐木・玉切・木寄(路網開設敷地外へ仮置き) ②バックホウで掘削・法面整形・盛土工羽整形 ③ブルドーザ土砂流用、路面整形、路面締固め ①施簡所入口はカラコーンで関係者以外立入り禁止とする。 ②バックホウ掘削時の谷側には1.0mの余裕幅をとる。谷側法層に0.5mの土塁を設置する。 ③機械転倒に考慮して、盛土法面の土羽整形と路体締固めは十分に行う。 ④降雨時は路体崩壊や路面軟弱に伴う災害が考えられるため作業は行わない。 ⑤降雨翌日の作業前には、路肩の安定確認したのちに作業を開始する。 ⑥縦断的に急勾配箇所(16%以上)には80mm級の砂利を敷設する。

安全対策(危険予知に対する措置内容)	
--------------------	--

作業場所及び作業範囲と運行経路図

機械位置、付随する機械設備、運搬路と移動位置、安全通路、立入禁止区域、制限速度、誘導者位置などを記入。



周知の記録  
 ・当作業計画書に従って作業します。 < 7月10日 >  
 (署名) 月山五郎 火山六郎

作業区分	機械名	運転者	資格等
作業道開設	バックホウ	月山五郎	②、⑤-1、⑥-1
"	ブルドーザ	火山六郎	②、④-1、⑥-1

対象機械と資格

①-1 移動式クレーン運転免許(5t以上)	①-2 移動式クレーン運転免許(小型移動式)運転技能講習修了者(1t以上)
①-3 移動式クレーンの業務に係る特別教育修了者(1t未満)	② 地山掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習修了者
③-1 フォークリフト運転技能講習修了者(1t以上)	③-2 フォークリフトの運転に係る特別教育修了者(1t未満)
④-1 ショベルローダ等の運転に係る特別教育修了者(1t以上)	④-2 ショベルローダ等の運転に係る特別講習修了者(1t未満)
⑤-1 不整地運搬車運転技能講習修了者(1t以上)	⑤-2 不整地運搬車の運転に係る特別教育修了者(1t未満)
⑥-1 車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削)運転技能講習修了者(3t以上)	⑥-2 車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削)の運転に係る特別講習修了者(3t未満)
⑦-1 玉掛けの業務を修了者(1t以上)	⑦-2 玉掛けの業務に係る特別教育修了者(1t未満)
⑧ その他 ( )	

【参考：安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】

様式 5 振動工具を使用した作業計画書	
No. _____	
作成年月日 平成 年 月 日	
第 回改訂年月日 平成 年 月 日	
計画作成者 _____	
作業者名 _____	
事業場名	
作業内容	
作業場所	
①振動工具を使用した作業	工具名 _____ 3軸合成値 m/s <sup>2</sup>
	点検・整備 (平成 年 月 日) 結果: m/s <sup>2</sup> )
②振動工具を使用した作業	工具名 _____ 3軸合成値 m/s <sup>2</sup>
	点検・整備 (平成 年 月 日) 結果: m/s <sup>2</sup> )
③振動工具を使用した作業	工具名 _____ 3軸合成値 m/s <sup>2</sup>
	点検・整備 (平成 年 月 日) 結果: m/s <sup>2</sup> )
作業の計画	<p>※振動工具を使用する作業時間、振動ばく露時間、作業の休止時間等の内容を具体的に記入すること。</p>
日振動ばく露量 A (8)	m/s <sup>2</sup>
平成 年 月 日	作業指示者 _____
<b>作業上の注意</b> 1. 振動ばく露時間を遵守のこと。 2. 一連続作業時間、休止時間を遵守のこと。 3. 保護具（防振手袋など）を着用のこと。 4. 使用中に使用開始時などより大きな振動が発生していると感じたときは、使用を止め速やかに作業指示者まで連絡すること。	
その他の注意 _____	

\* 「日振動ばく露量 A (8)」については、厚生労働省労働基準局 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/090820-3.html> の計算テーブルを参照。

# 様式 5

## 振動工具を使用した作業計画書（記載例）

No. \_\_\_\_\_

作成年月日 平成 25 年 6 月 25 日

第 回改訂年月日 平成 年 月 日

計画作成者 森林太郎

作業者名 松山一郎、桜山二郎、笹山三郎

事業場名	カラマツ里山団地	
作業内容	杉山 松之助 氏所有林 立木処分 出材予定 針葉樹 850 m <sup>3</sup>	
作業場所	〇〇〇郡〇〇市〇〇町 77 林班ろ小班	
①振動工具を使用した作業	工具名 チェーンソー MS 3 6 2 (No1)	3 軸合成値 3.6 m/s <sup>2</sup>
	点検・整備 (平成 25 年 5 月 20 日)	結果 : 4.2 m/s <sup>2</sup> )
②振動工具を使用した作業	工具名 チェーンソー MS 3 6 2 (No2)	3 軸合成値 3.6 m/s <sup>2</sup>
	点検・整備 (平成 25 年 5 月 20 日)	結果 : 3.6 m/s <sup>2</sup> )
③振動工具を使用した作業	工具名 チェーンソー MS 3 6 2 (No3)	3 軸合成値 3.6 m/s <sup>2</sup>
	点検・整備 (平成 25 年 5 月 20 日)	結果 : 4.8 m/s <sup>2</sup> )
作業の計画	<p style="text-align: center;"><b>管理区分 A : 連続作業時間 10 分-目立等休憩時間 30 分</b></p> <p style="text-align: center;"><b>管理区分 B : 連続作業時間 10 分-目立等休憩時間 50 分</b></p>	
	<p>一日の作業時間は、機体又は取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値（以下 3 軸合成値）」により厚生労働省通達による。</p> <p>1) 10m/s<sup>2</sup> より小さい場合、1 回の連続作業時間は 10 分以内、一日の作業時間は 2 時間以内。</p> <p>2) 10m/s<sup>2</sup> より大きい場合、1 回の連続作業時間は 10 分以内、一日の作業時間は次式で算出。</p> <p style="text-align: center;"><math>T=200 \div (a \times a)</math> : 時間 (T: 一日の最大作業時間、a: 3 軸合成値)</p>	
日振動ばく露量 A (8)	No1 (2.1m/s <sup>2</sup> )、No2 (1.8m/s <sup>2</sup> )、No3 (2.4m/s <sup>2</sup> ) 合計の日振動ばく露量 3.7m/s <sup>2</sup>	
平成 25 年 7 月 1 日		
作業指示者 森林整備課係長 森林太郎		
<p>作業上の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 振動ばく露時間を遵守のこと。</li> <li>2. 一連続作業時間、休止時間を遵守のこと。</li> <li>3. 保護具（防振手袋など）を着用のこと。</li> <li>4. 使用中に使用開始時などより大きな振動が発生していると感じたときは、使用を止め速やかに作業指示者まで連絡すること。</li> </ol>		
その他の注意		

\* 「日振動ばく露量 A (8)」については、厚生労働省労働基準局 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/090820-3.html> の計算テーブルを参照。

## 様式 6 の 1 振動工具自主点検表(チェーンソー用)

事業所名		点 検 日	平成 年 月 日
所在地	〒 -	振動工具管理責任者	
	電話番号 - -	自主点検者	
労働者数 (うちチェーンソー使用労働者)	人 (人)	チェーンソー 保有台数	メーカー ( - 台) ( - 台) ( - 台)

□に✓を付けるとともに、( )に記入する。

<b>選定基準</b>			
1 防振機構内蔵型で振動及び騒音が小さいものを選んでいるか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
2 軽量なものを選んでいるか。 ※大型チェーンソーは大径木の伐倒等やむを得ない場合に限って用いているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
3 ガイドバーの長さが伐倒のために必要な限度を越えないものを選んでいるか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
<b>チェーンソーの点検・整備</b>			
1 製造者等が取扱説明書等で示した時期・方法により定期的に点検・整備し常に最良の状態を保っているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
2 ソーチェーンについては、定期的に目立てをしているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
3 予備のソーチェーンを業務場所に持参し、適宜交換する等常に最良の状態で使用しているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
<b>チェーンソー作業の作業時間の管理及び進め方</b>			
1 チェーンソーを取り扱わない日を設けるなどにより1週間の振動ばく露時間を平準化しているか。	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
2 日振動ばく露量 A(8)を算定しているか。 ※「していない」場合は、「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」から日振動ばく露量 A(8)を算定すること。	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
3 日振動ばく露量限界値(5.0 m/s <sup>2</sup> )を超えないよう措置を講じているか。 ※「講じていない」場合は、振動ばく露時間の抑制、低振動チェーンソーの選定等の措置を講じること。	<input type="checkbox"/> 講じている	<input type="checkbox"/> 講じていない	
4 日振動ばく露量対策値(2.5 m/s <sup>2</sup> )を超えないよう対策を講じているか。 ※「講じていない」場合は、3と同様の措置を実施するよう努める。	<input type="checkbox"/> 講じている	<input type="checkbox"/> 講じていない	
5 日振動ばく露量限界値に対応する1日の振動ばく露時間(振動ばく露限界時間)が2時間を超えているか。 ※1 「2時間以下」の場合は、2時間以下の当該時間以下の振動ばく露時間とする。 ※2 「2時間を超える」場合は、「2時間以下」の振動ばく露時間とする。 ※3 「2時間を超える」場合であっても、以下の①～③の要件の全てを満たす場合は2時間を超えることができるが、この場合でも4時間以下とする。 ① 適切な整備・点検を実施している。 ② 使用する個々のチェーンソーの「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」を点検・整備の前後を含めて測定・算出している。 ③ 振動ばく露限界時間を②の測定・算出値の最大値に対応したものとしている。 ※4 上記①～③以外の場合は、1日の振動ばく露時間を2時間以下とする。	<input type="checkbox"/> 2時間以下	<input type="checkbox"/> 2時間を超える	
6 「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」が把握できない場合類似のチェーンソーの「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」を参考に算出した振動ばく露限界時間が2時間を超えるか。 ※「2時間を超える」場合は、2時間以下のできるだけ短時間とする。	<input type="checkbox"/> 2時間以下	<input type="checkbox"/> 2時間を超える	
7 チェーンソーによる一連続の振動ばく露時間を10分以内としているか。 ※「10分を超える」場合は、10分以下とする。	<input type="checkbox"/> 10分以内	<input type="checkbox"/> 10分を超える	
8 チェーンソーを用いた作業の計画を作成し、書面等により労働者を示しているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
9 1日に複数のチェーンソー等の振動工具を使用するか。 ※「使用する」場合は、個々の工具ごとの「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」等から日振動ばく露量 A(8)を算定する。	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/> 使用しない	
10 大型の重いチェーンソーを用いているか。 ※「用いている」場合は、1日及び一連続の振動ばく露時間を更に短縮する。	<input type="checkbox"/> 用いている	<input type="checkbox"/> 用いていない	



<b>チェーンソーの使用上の注意</b>		
1 下草払い、小枝払い等は、手鋸、手おの等を用いてチェーンソーの使用を避けているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2 チェーンソーを無理に木に押しつけていないか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
3 チェーンソーの重量をなるべく木に支えさせようとするなどして、チェーンソーを支える力を少なくしているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
4 移動の際、チェーンソーの運動を止めているか。	<input type="checkbox"/> 止めている	<input type="checkbox"/> 止めていない
5 チェーンソーを使用する際、高速の空運転を避けているか。	<input type="checkbox"/> 避けている	<input type="checkbox"/> 避けていない
<b>作業上の注意点</b>		
1 雨の中の作業等、作業者の身体を冷やすことを避けているか。	<input type="checkbox"/> 避けている	<input type="checkbox"/> 避けていない
2 防振及び防寒に役立つ厚手の手袋を用いているか。	<input type="checkbox"/> 用いている	<input type="checkbox"/> 用いていない
3 作業中は軽く、かつ暖かい服を着用しているか。	<input type="checkbox"/> 着用している	<input type="checkbox"/> 着用していない
4 寒冷地における休憩は、暖かい場所か。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5 エンジンを掛けている時は、耳栓等を用いているか。	<input type="checkbox"/> 用いている	<input type="checkbox"/> 用いていない
<b>体操等の実施</b>		
実施は、 <input type="checkbox"/> 作業開始前	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 未実施
※ 筋肉の局所的な疲れをとり、身体の健康を保持するため、作業開始前、作業間及び作業終了後に、首、肩の回転、ひじ、手、指の屈伸、腰の曲げ伸ばし、腰の回転を主体とした体操及びマッサージを毎日行なうこと。	<input type="checkbox"/> 作業間	<input type="checkbox"/> 作業終了後
<b>振動工具管理責任者</b>		
1 選任状況	<input type="checkbox"/> 選任している	<input type="checkbox"/> 選任していない
2 職務の実施状況	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない
※ 振動工具管理責任者の職務は、チェーンソーの点検・設備状況の定期的な確認及びその状況の記録です。		
<b>通勤の方法</b>		
身体が冷えない方法をとって、オートバイ等による通勤を避けているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
<b>その他</b>		
1 適切な作業計画を樹立し、これに見合う人員を配置しているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2 目立ての機材を備え付けているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
3 教育の実施	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 未実施
※ ソーチェーンの目立て、チェーンソーの点検・整備、日振動ばく露量 A(8)に基づくチェーンソーの適切な取扱いについて教育を行うこと。		
4 暖房を設けた休憩小屋等の設置	<input type="checkbox"/> 設置	<input type="checkbox"/> 未設置
5 防振手袋、耳栓等の防護具を支給しているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
<b>特殊健康診断</b>		
1 第一次健康診断の実施者数 ( )人		
2 第二次健康診断の実施者数 ( )人		
3 第二次健康診断の実施者数のうち、管理 B( )人、管理 C( )人		
4 管理 B 及び管理 C の者に対する事後措置の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
※ 事後措置について (具体的に )		

\* 振動障害総合対策の推進について(平成 21 年 7 月 10 日付け基発 0710 第 5 号)第 1 の 3 の (1) で示された別紙 2 の振動工具自主点検表(チェーンソー用)を基に作成しています。

## 様式 6の2 振動工具自主点検表（刈払機用）

事業所名		点 検 日	平成 年 月 日
所在地	〒 -	振動工具管理責任者	
	電話番号 - -	自主点検者	
労働者数 (うち刈払機使用労働者)	人 ( 人)	刈 払 機 保 有 台 数	メーカー ( - 台) ( - 台) ( - 台)

□に✓を付けるとともに、( )に記入する。

工具の選定基準		
低振動であるなど振動工具の選定は適切なものを選んでるか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
<b>振動作業の作業時間の管理</b>		
1 振動業務と振動業務以外を組み合わせ、振動業務に従事しない日を設けているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2 日振動ばく露量 A(8)に基づく作業管理		
(1)日振動ばく露量 A(8)を算定しているか。 ※「していない」場合は「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」から日振動ばく露量 A(8)を算定すること。	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない
(2)日振動ばく露量限界値(5.0 m/s <sup>2</sup> )を超えないよう措置を講じているか。 ※「講じていない」場合は、振動ばく露時間の抑制、低振動工具の選定等の措置を講じること。	<input type="checkbox"/> 講じている	<input type="checkbox"/> 講じていない
(3)日振動ばく露量対策値(2.5 m/s <sup>2</sup> )を超えないよう対策を講じているか。 ※「講じていない」場合は、(2)と同様の措置を実施するよう努める。	<input type="checkbox"/> 講じている	<input type="checkbox"/> 講じていない
(4)日振動ばく露量限界値に対応する1日の振動ばく露時間(振動ばく露限界時間)が2時間を超えるか。 ※1「2時間以下」の場合は、2時間以下の当該時間以下の振動ばく露時間とする。 ※2「2時間を超える」場合は、「2時間以下」の振動ばく露時間とする。 ※3「2時間を超える」場合であっても、以下の①～③の要件の全てを満たす場合には2時間を超えることができるが、この場合でも4時間以下とする。 ① 適切な整備・点検を実施している。 ② 使用する個々の振動工具の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」を点検・整備の前後を含めて測定・算出している。 ③ 振動ばく露限界時間を②の測定・算出値の最大値に対応したものとしている。 ※4上記①～③以外の場合は、1日の振動ばく露時間を2時間以下とする。	<input type="checkbox"/> 2時間以下	<input type="checkbox"/> 2時間を超える
(5)「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」が把握できない場合 類似の振動工具の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」を参考に算出した振動ばく露限界時間が2時間を超えるか。 ※1「2時間を超える」場合は、2時間以下のできるだけ短時間とする。 ※2 作業の性格上、同一の作業者が同一の現場で連続して作業を行うことが不可欠である場合でかつ日振動ばく露量が5.0 m/s <sup>2</sup> を超える場合には、1週間の作業計画を作成した上で、振動ばく露を1日8時間5日(週40時間)として算出し、日振動ばく露量 A(8)を5.0 m/s <sup>2</sup> 以下とする1日の振動ばく露許容時間としてやむを得ないこととする。	<input type="checkbox"/> 2時間以下	<input type="checkbox"/> 2時間を超える
(6)作業の計画を作成し、書面等により労働者を示しているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(7)1日に複数の振動工具(刈払機を含む。)を使用するか。 ※「使用する」場合は、個々の振動工具(刈払機を含む。)ごとの「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」等から日振動ばく露量 A(8)を算定する。	<input type="checkbox"/> 使用しない	<input type="checkbox"/> 使用する
3 一連続の振動ばく露時間を概ね30分以内とし、かつ、5分以上の休止時間を設けているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

<b>工具操作時の措置</b>		
1 工具の操作方法 (1)ハンドル又はレバー以外の部分を持たないようにしているか。 ※ハンドル又はレバーは過度に強く握らず、かつ、強く押さないこと。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2 作業方法 (1)筋の緊張が持続する作業方法 (2)振動が直接身体に伝わる作業方法 (3)振動工具の排気を直接吸い込むおそれのある作業方法 (4)振動工具の支持	<input type="checkbox"/> 避けている <input type="checkbox"/> 避けている <input type="checkbox"/> 避けている <input type="checkbox"/> アーム等により支持している	<input type="checkbox"/> 避けていない <input type="checkbox"/> 避けていない <input type="checkbox"/> 避けていない <input type="checkbox"/> していない
3 丸のこ等の選定及び管理 丸のこ等は加工の目的、被加工物の性状等に適合し、かつ、適切に設備されたものを使用しているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
<b>点検・設備</b>		
振動工具を製造者が取扱説明書等で示した時期・方法により定期的に点検・整備し常に最良の状態に保っているか。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
<b>振動工具管理責任者</b>		
1 選任状況	<input type="checkbox"/> 選任している	<input type="checkbox"/> 選任していない
2 職務の実施状況 ※振動工具管理責任者の職務は、刈払機の点検・設備状況の定期的な確認及びその状況の記録です。	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない
3 作業基準の設定 ※「定めていない」場合は、振動工具の取扱い及び整備の方法並びに作業の方法について、適切な作業基準を具体的に定めること。	<input type="checkbox"/> 定めている	<input type="checkbox"/> 定めていない
<b>施設の整備</b>		
1 休憩施設等 (1)屋外作業における休憩施設、かつ暖房の措置の有無 ※(1)のほか手洗いのための温水を供給する措置を講ずることが望ましい。	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 衣服が濡れる作業を行なう場合の衣服を乾燥するための設備の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
<b>保護具の支給及び使用</b>		
<b>保護具の支給及び使用</b>		
1 防振保護具	<input type="checkbox"/> 使用させている	<input type="checkbox"/> 使用させていない
2 防音保護具(90dB(A)以上の作業) ※作業者に防振保護具および防音保護具を支給し、使用させること。	<input type="checkbox"/> 使用させている	<input type="checkbox"/> 使用させていない
<b>体操等の実施</b>		
実施は、	<input type="checkbox"/> 作業開始前	<input type="checkbox"/> 作業間
		<input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 作業終了後
<b>特殊健康診断</b>		
1 第一次健康診断の実施者数 ( )人		
2 第二次健康診断の実施者数 ( )人		
3 第二次健康診断の実施者数のうち、管理B( )人、管理C( )人、		
4 管理B及び管理Cの者に対する事後措置の有無 事後措置について (具体的に	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
<b>安全衛生教育の実施</b>		
※安全衛生教育は、日振動ばく露量A(8)による作業管理等を含みます。	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない

\* 振動障害総合対策の推進について(平成21年7月10日付け基発0710第5号)第1の3の(1)で示された別紙2の振動工具自主点検表(チェーンソー以外用)を基に作成しています。

## 様式 7

<b>振動工具管理台帳</b> 平成 年 月 日～平成 年 月 日 振動工具管理責任者：			
振動工具名			
購入年月日	平成 年 月 日		
周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値	m/s <sup>2</sup>		
点検・整備状況（下欄に記入すること。）			
定期的な点検・整備状況（ 月以内毎に 回以上） ※ 製造・輸入事業者が取扱説明書などに示した点検・整備の時期及び方法などによる。			
実施年月日	点検・整備状況	実施年月日	点検・整備状況
年 月 日		年 月 日	
年 月 日		年 月 日	
毎日の点検・整備状況 ※ 製造・輸入事業者が取扱説明書などに示した方法などによる。			
実施月日	点検・整備状況	実施年月日	点検・整備状況
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	
注意 1 同じ名称の振動工具が複数ある場合は、機種番号などにより識別できるよう記載のこと。 2 毎日の点検について、取扱説明書などに方法などが記載されているときは、これのとおりとすること。 3 点検・整備の前後などに周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値を測定した場合、その値も記載のこと。			



# 林業に新規参入する労働者に係る労働災害防止対策推進事業 新規参入者教育カリキュラム、教育教材作成委員会

## ■ 委員名簿（50音順敬称略）

市原紅美雄	林業・木材製造業労働災害防止協会
犬飼米男	全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会
上村 巧	独立行政法人 森林総合研究所
尾張敏章	東京大学大学院
鹿島 潤	独立行政法人 森林総合研究所
梶山恵司	株式会社富士通総研
栗山 茂	労働安全・労働衛生コンサルタント
高橋雅弘	静岡県森林組合連合会
松隈 茂	一般社団法人林道安全協会
山田容三	名古屋大学大学院

## ■ オブザーバ（50音順敬称略）

井出光俊	林野庁林政部経営課林業労働対策室
川越俊治	厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室
川崎智資	イワフジ工業株式会社

## ■ 事務局

石山浩一	株式会社森林環境リアライズ
杉山 裕	株式会社森林環境リアライズ
長友孝文	F C N a g a t o m o
藤野正也	株式会社フォレスト・ミッション

林業に新規参入する労働者に係る労働災害防止対策推進事業  
安全な作業に必要な作業計画の作成支援

平成25年 1 月

編集者：株式会社森林環境リアライズ  
〒064-0821

札幌市中央区北1条西21丁目3-35  
(TEL) 011-699-6830 (FAX) 011-699-6831

※本書は、厚生労働省の委託事業で作成したものであり、著作権等の権利は厚生労働省に帰属します。